

# 大松院 浦和霊園便り

Vol. 16

平成二十九年お盆特集号  
電話 048-812-1121  
FAX 048-878-7272

## 住職挨拶

真言宗智山派大松院住職 片岡 智鶴



日本は戦後の混乱から復興、そして経済成長と変転を重ね、経済的にも目覚ましい繁栄を築きました。その反面、人々は物質的な充実に求め、心の問題はどこか置き去りにされてきたのではないかと思います。時代が昭和から平成に変わると景気が後退し、毎日不安と向き合って過ごさなければなくなりました。健康も教育も老後も……。また人間の心も悪くなりました。

以前の日本人は信仰心が篤く、ご先祖様を崇拝する気持ちがありました。第二次世界大戦中、そして戦後、私たちは貧困に喘ぎましたが、苦しい中でも、一つの物を皆で分け合って食べました。物を大切にすることの大切さ、互いに助け合い、いたわり合う心の大切さを忘れませんでした。

宗祖 弘法大師様は、「こころ」を「自心」と申され、かつて日本人が持っていたような「心の命」の大

切さを教えられました。そして、「如実知自心」すなわち「実の如く自心を知れ」とおっしゃり、自分の命の本来の意義を知ることの大切さを教えられました。この命を活かすための力が智慧と慈悲であり、それを与えて下さるのが神仏、そしてご先祖様です。

浦和霊園には観音様の使いである宝頭龍馬菩薩様が安置され、皆様のご先祖様をお守りしています。

大松院は真言宗の寺院ではありませんが、観音様を本尊とし、どの宗派でも信仰されている観音様を通して、宗旨宗派を問わず、皆様のご先祖様のお墓を大切にしています。

### 【お知らせ】

この度、私が八十二歳になったことを機に、私の補佐役として三浦清志僧正を大松院に迎えることになりました。三浦氏は全日本仏教青年会の理事を務め、真言宗以外の宗派にも通じた人物です。人あたりよく、親しみやすい人柄ですが、趣味は修行というなかなか骨のある人物です。

これからも、大松院ともども三浦をよろしくお願いいたします。

合掌

## ご挨拶

大松院 三浦 清志



皆様、初めまして。去る四月一日より大松院へ勤務することになりました。三浦清志（本名はみうらきよし、僧名はミウラセイシと読みます）と申しま

す。大正大学へ進学し、音楽部（合唱部）に入部。そこで大勢の先輩方とお会いする中で、お寺の方々と出会い、お仕事をさせて頂きました。その中の一つが埼玉県富士見市にある大應寺（だいおうじ）というお寺でした。こちらのご住職とはご縁があり、平成七年から大應寺で職員として勤めることになりました。以来、20年に渡り僧侶として研鑽を積ませていただきました。そんな中、真言宗智山派の同じ教区であった大松院 片岡住職とお会いすることができました。ご詠歌の集まりを通じてご縁を深めさせていただき、この度、お世話になることになりました。

これからご法事等でお世話になると思います。私自身は、在家（一般の家）の出身でありますので、霊園の皆様に近い立場の僧侶として、これから誠心誠意お勤めさせていただきたいと存じます。どうぞ、霊園にお参りの際には、お気軽にお声をかけていただき、お話しできればと思います。

皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げ、入寺のご挨拶とさせていただきます。

合掌

# ◎ お盆について

毎年8月のお盆休みになると、各地へ移動する人たちの交通渋滞を目にすることがあります。昨今は、お盆休みに旅行に出かける方も多いようですが、本来「お盆」とはどういうものなのでしょうか。

## ◇お盆の由来

お盆は、お釈迦様の十大弟子である目連（もくれん）尊者に由来します。目連尊者は自分の母が死後、餓鬼道（飢えと渇きの苦しみの世界）に落ちているのを見て、神通力で救おうと餓鬼道に行き、苦しんでいる母に食べ物を与えようとしています。ところが母親が食べようとする、食べ物が目の前で燃えて無くなってしまう食べることができません。目連尊者は何とか母親を救おうとお釈迦様に相談します。するとお釈迦様は「七月十五日に大勢の修行僧たちが修行の期間を終えて修行場から出てくる。その時に仏様や僧侶たちにたくさんご馳走をお供えしなさい。そして僧侶たちに生みの父母、七世の父母のために苦を抜き、楽を与えてくださるように供養してもらいなさい。そうすれば、現在この世にある父母は百歳の寿命を保ち、今は亡き七世の父母は、餓鬼道から救われるだろう。」と、言われました。そこで目連は、言われた通り数多くの僧侶たちにお供えを施し、法要

を営んだのが始まりといわれています。正式には「盂蘭盆会」（うらぼんえ）といえます。

## ◇日本におけるお盆

### (一) お盆の時期

一般的には七月十三日から十五日（十六日）、または月遅れの八月十三日から十五日（十六日）に行う地域が多いですが、地藏盆と言ってお地藏様のご縁日である二十四日前後に行う地域もあり様々です。

### (二) 迎え盆と送り盆

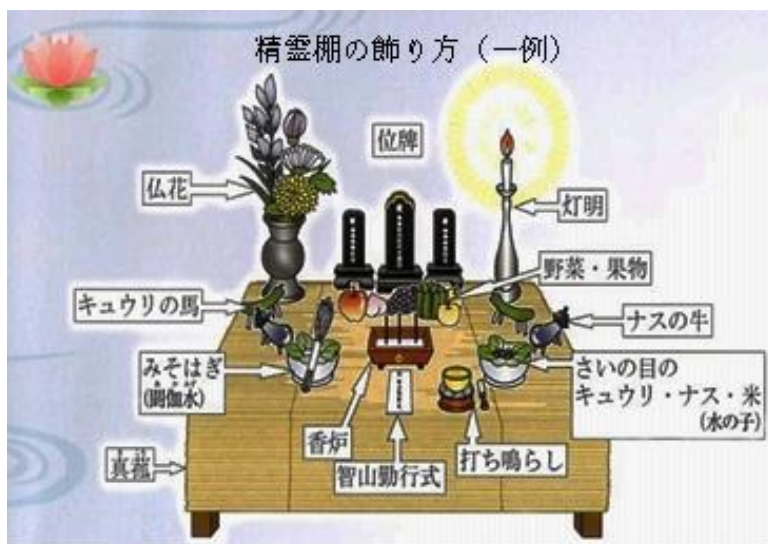


一般的には七月でも八月でも十三日の夕方にご先祖様をお迎えするのを「迎え盆」、十五日または十六日にお送りするのを「送り盆」といいます。お迎えの仕方は、お墓にて迎え火を焚いて、その火で提灯に灯をともし、提灯の明かりで先祖様を家までお導きして、家に飾った精霊棚（しゅうりょうだな）・盆棚（ぼんだな）にお迎えします。また、地域によっては、家の玄関先で芋殻（おがら）を焚いてお迎えするところもあります。最近はお花屋さんやスーパーでもお盆のお飾りをセットで販売していますので、ご利用になるのもよろしいかと思

います。「送り盆」は、この反対のことを行って、ご先祖様をお送りします。

浦和霊園では八月十五日に霊園内にて皆様と共にご先祖様をお送りする「送り火の夕べ」を行っています。

### (三) お盆の飾り方



それぞれの宗派、宗旨がありますので一概には言えませんが、右に一例を示しておきます。お分かりにならないときは、お気軽に霊園でお聞きください。特にお盆の特徴としては、キュウリの馬、ナスの牛、ミソハギと閻魔水（あかみず）、水の子（キュウリとナ

スをさいの目に切ってお米をまぶしたもの）があります。また、図は改めて柵を用意していますが、仏壇に飾っても構いません。できる範囲で結構です。ご先祖様をお迎えしましょう。

## ◇お盆と私たち

元来、日本人はご先祖様を敬い、感謝して生きてきた民族でした。お盆に限らず、お正月、お彼岸とお墓参りをして、大切にしてきました。そうして命のつながりを大切にし、今生かされていることに感謝してきました。お盆は、まさにご先祖様への感謝を表す行事であると思います。大切なご先祖様や亡き家族の供養を通して、心を穏やかにし、これからの日々を生きていく力を自分自身の中に培っていくことが、お盆の役目だと思います。つまり、最終的には、生きていく私たちのための「お盆」なのだと思います。

皆様、それぞれができる範囲で、毎年家族のために祈る。そのことが、ひいては自分のより良い生き方につながると思っています。普段は、仕事や家事に追われているかもしれませんが、どうかお盆の時は、心静かに亡きご家族、ご先祖様をお家にお迎えし、感謝のひとつ時を捧げてみてください。 三浦清志 記

## ◎「合同慰霊祭」のご案内

今夏より7月・8月、亡き人がご家族に会いに帰っ

てくるお盆の入りに合同慰霊祭を開催いたします。初盆の方、又、ご事情があつて自宅法要の叶わない方等、宗旨宗派に拘わらず、ご参加ください。

○日時 七月十三日(木) 午前十一時

八月十三日(日) 午前十一時

○場所 霊園会館2階

○参加料 (お布施) 5,000円

○塔婆(任意) 一本3,000円

○お持ちいただくもの 過去帳又は位牌

※ご参加の方が多数の場合、各々午後二時から第二部を催します。お申込・お問合わせは管理事務所まで。

## ◎「送り火のタベ」のご案内

恒例となりましたお盆の行事「送り火のタベ」を今年も開催いたします。ご家族お揃いでのご参加をお待ちしております。

○日時 八月十五日(火) 午後五時より

午後五時より 法話会

午後六時半より お焚きあげ

○場所 霊園会館2階及び駐車場

○参加費 無料

※ただし、精霊舟をお申込みの方は、実費2,000円をご負担ください。

○精霊舟墓参代行

当日ご都合のつかない方は、管理事務所

で精霊舟墓参代行も承っております

○少雨決行となっております。

※お申込み・お問い合わせは管理事務所まで。

## 送り火のタベ



真言宗智山派 龍頭山 大松院

本院 048 - 882 - 9205

〒330-0055

さいたま市浦和区東高砂町19-4

浦和霊園 048 - 812 - 1121

〒336-0963

さいたま市緑区大字大門1928-1

## ◎「仏教勉強会」のご案内

大松院 小林 智観



仏教には幸せに生きるための  
智慧がたくさんつまっています。  
私もまだ勉強中ですが、皆さんと  
一緒に学んでいきたいと思っ  
ています。

毎月第3日曜日（8月を除く）浦和駅前の大松院  
本院にて写経、写仏、仏教勉強会を行っています。  
是非、ご参加ください。

7月 勉強会 布施・戒名ってどんな  
意味があるの？

9月 写経

10月 勉強会 仏像の見分け方

11月 写仏

12月 写経

1月 勉強会 お経を唱えてみよう

2月 写仏

・時間 10時～12時

・参加費 無料

・写経、写仏の道具はこちらで用意しています。  
初めて参加される方には写経、写仏セットを  
差し上げています。

詳細は下記ホームページをご参照ください。

仏事でご不明な事は、お気軽に

お問い合わせください。

大松院 048-882-9205

霊園事務所 048-812-1121

大松院は霊園のお寺です。皆様と心で結ばれた菩提寺です。「檀家制度」ではありませんから、特別な寄付や会費はありません。葬儀は他のお寺に依頼された方でも、年忌法要からでもお受け致します。

## 蓮華の会のご案内

要旨は大略以下の通りです。

一、年会費や寄付は一切ありません。

二、「節分」「送り火の夕べ」等の霊園行事のご案内を致します。

三、現在企画立案中の「生前戒名勉強会」の優先参加をご案内致します

四、仏事に関する相談会を企画中です。

※ご案内をご希望の方は、霊園管理事務所まで、ご連絡ください。

## 本院 大松院のご案内

大松院はJR浦和駅東口で下車し、徒歩5分の所にあります。



大松院 地図

## 管理事務所より皆様へお願い

住所変更、振込口座の変更、名義変更の際は、管理事務所までご一報ください

【浦和霊園公式ホームページのお知らせ】

新たにホームページができましたのでご覧ください

<http://www.urawareien.com>

